

廃棄物のトレーサビリティ

(株)コシダテック（加藤雅彦研究室）

■ はじめに

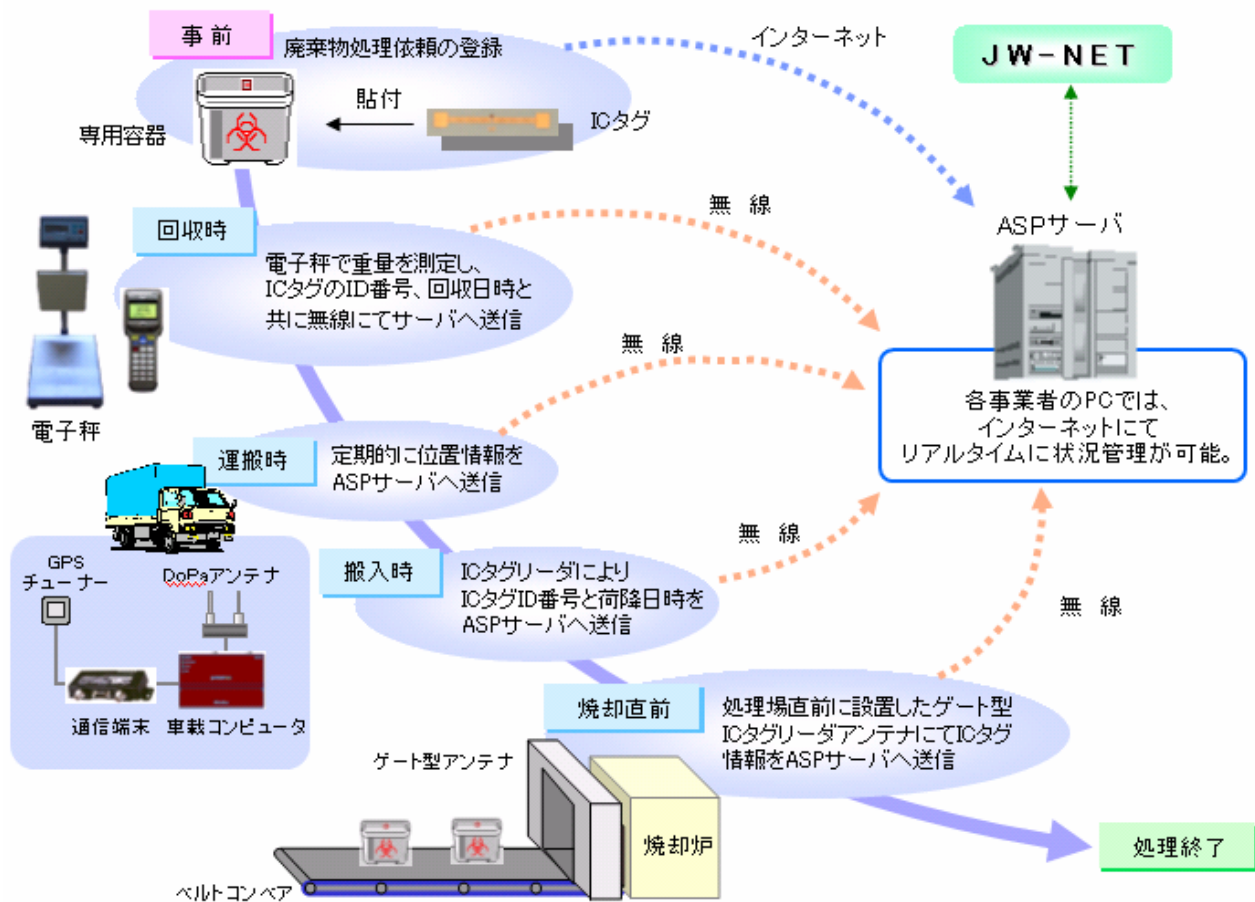
現行の紙マニフェスト／電子マニフェストでは、伝票管理に留まっており、伝票内容と廃棄物そのものの流れが一致しないことが生じる。そこで、GPS・ICタグ・モバイル通信の先端技術を活用し、廃棄物そのものを追跡管理(トレーサビリティ)し、マニフェストと廃棄物の流れを一致させるシステムを開発した。本システムは、環境省次世代廃棄物処理技術整備基盤事業に採択されており、現在サービスが開始されている。

■ ICタグとは

物を識別する際に利用される微小な電子管理札。個々に固有の製造番号を所持しており、電波を使って読み取り機器とデータの送受信を行う。バーコードとの違いは、①情報を何回も書き込むことができる。②複製が出来ない。③読み取り距離が長い。④同時に複数個読み書きができる。等周波数帯によって読み取り距離が異なるが、5m以上先から読み取ることが出来るICタグもあり、物流や生産管理分野での活用が期待されている。JRの「ICOCA」にもICタグが使用されている。



■ トレーサビリティシステムフロー



〔連絡先〕 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目5番10号  
 株式会社コシダテック モバイルソリューション営業部 営業三課 高原成明  
 TEL: 03-3432-3841 FAX: 03-3432-5576 E-mail: n-takahara@koshida.co.jp  
 〔キーワード〕 ICタグ、トレーサビリティ、廃棄物、マニフェスト、不法投棄